

県スポ協プレゼンツ ～今、注目の選手たち～

花巻北高校 弓道部

主な大会成績

【2023 年度】

第 42 回全国高等学校選抜弓道大会
第 42 回東北高等学校弓道選抜大会

第 42 回全国高等学校選抜弓道大会岩手県予選会
第 62 回岩手県高等学校新人大会弓道競技
【2024 年度】

第 43 回全国高等学校選抜弓道大会

第 43 回東北高等学校弓道選抜大会
第 43 回全国高等学校選抜弓道大会岩手県予選会

個人 田頭璃子 第 2 位
団体 第 2 位、技能優秀賞
個人 糠森美湖 第 1 位、
技能優秀賞
団体 第 2 位、射道優秀賞
団体 優勝、射道優秀賞

団体 優勝
個人 吉田茉那 決勝戦進出
団体 第 2 位、技能優秀賞
団体 優勝、射道優秀賞
個人 第 2 位 吉田茉那

今年度 12 月に行われた第 43 回全国高等学校選抜弓道大会にて、見事女子団体優勝に輝いた花巻北高校女子弓道部。現在、その優勝で慢心に浸ることなく数か月後に迫った県高校総体、そしてインターハイに向けて必死に練習に励んでいる 4 名にお話を伺いました。



Q 全国選抜大会で見事優勝を飾った時の気持ちは？

A (吉田茉那さん) 努力が報われたようで嬉しかったです。仲間を信じて積み上げてきたものが形になり、心から喜びを感じました。

(菊池葉月さん) 会場で応援して下さった関係者の皆さんの喜ぶ顔がとても嬉しかったです。

(森鍵日葵さん) 大会中調子が悪かったが、見事優勝できて安心しました。優勝直後は全然実感が湧かず、夢かと思いました。

(田頭璃子さん) 去年の全国選抜大会から団体で優勝することが目標だったので、優勝が決まった時はとても嬉しかったです。

Q これまで取り組んできたことの中で、主に効果的だった取り組みは？

A (吉田さん) 大会本番を意識した実戦形式の試合練習や、選手同士でのミーティング、目標や気持ちを共有したことです。

(菊池さん) ストレッチや栄養摂取などのコンディション管理。それが選手としての意識向上にも繋がりました。

(森鍵さん) 練習後などに定期的に行ってきたミーティングが効果的でした。話し合いを深めてさらに強く団結出来ました。

(田頭さん) メンバー内で頻繁にミーティングを行ったことが 1 番効果的でした。仲間の調子の様子や気持ちなどを共有出来たことで、団体としてのまとまりができました。また、少年女子団体メンバーとして SAGA2024 国スポに参加させて頂いた経験も私自身の力になったと思います。

Q 優勝をしたその後の心境の変化、環境の変化、取り組みの変化、思考の変化は？

A (吉田さん) 全国優勝という結果に慢心せず、通過点として受け止め、さらに高みを目指す意識が強くなりました。

(菊池さん) プレッシャーを前よりも強く感じるようになったため、そういう気持ちと向き合いながら試合への気持ちを作っていくようになりたいと思うようになりました。

(森鍵さん) 周囲からのプレッシャーや期待を感じるようになりました。それを気にせず自分のペースで弓を引きたいです。

(田頭さん) 今後、プレッシャーを感じるかもしれませんが、私達らしい明るく楽しい雰囲気を守りたいです。

Q 現在、重点的に取り組んでいること、考えていることは何？

A (吉田さん) これから迎える高総体を見据え、団体を支える柱として安定した射を磨くことを意識しています。

(菊池さん) 会 (狙いを定めるときのフォーム) を保つことです。保つ時間を長くすると前と離れのタイミングが変わってしま

うため苦労しています。

(森鍵さん) やっと大会がほとんどない落ち着いた時期になったため、コンディションの管理を徹底的に行っています。

(田頭さん) 他校の的中や雰囲気に関わられず、自分の射に集中して引ける射を目指して練習に取り組んでいます。

Q 今後の目標は？

A (吉田さん) 私達らしい弓道を貫き、インターハイでの個人入賞や団体優勝が目標です。

(菊池さん) 残り数ヶ月の高校弓道を仲間と楽しむこと。県高総体をみんなと笑顔で終われたら良いと思います。

(森鍵さん) インターハイに出場して優勝すること。まずは県大会優勝という大きな壁を乗り越えることを目標に頑張ります。

(田頭さん) インターハイ団体優勝！



以上、花巻北高校弓道部の皆さんからお話を伺いました。来る県高総体、インターハイでのご活躍、そしてその先にある「わた SHIGA 輝く国スポ 2025」でのご活躍を期待しています！